

施策の柱6 生きがいづくりと社会参加の促進

1 生きがい活動の推進

(1) 老人福祉センター

【現状】

老人福祉センターは、60歳以上の高齢者が入浴・休憩できるとともに、囲碁・将棋やカラオケ等の娯楽を楽しみ、各種の教室に参加して教養を高めるなど、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進を図るための施設です。市内には、馬渡荘、大島荘、高場荘、みなと荘、金上荘、津田老人いこいの家の6か所の施設があります。

(表 4-160)

老人福祉センター利用状況

(単位：人)

施設名		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
馬渡荘	市内	8,139	8,189	7,823	4,501
	市外	30	25	48	94
	合計	8,169	8,214	7,871	4,595
	1日平均	28	28	27	31
大島荘	市内	22,951	23,366	21,614	9,621
	市外	115	73	116	71
	合計	23,066	23,439	21,730	9,692
	1日平均	79	81	74	70
高場荘	市内	11,481	11,492	10,623	5,038
	市外	234	281	189	77
	合計	11,715	11,773	10,812	5,115
	1日平均	40	41	37	34
みなと荘	市内	12,548	11,975	10,199	4,678
	市外	0	18	7	7
	合計	12,548	11,993	10,206	4,685
	1日平均	43	41	35	31
金上荘	市内	7,847	6,929	7,069	3,329
	市外	164	75	189	33
	合計	8,011	7,004	7,258	3,362
	1日平均	27	24	25	23
津田老人いこいの家	市内	8,523	8,274	6,841	3,029
	市外	34	31	126	69
	合計	8,557	8,278	6,967	3,098
	1日平均	29	29	24	21
市内		71,489	70,198	64,169	30,196
市外		577	503	675	351
合計		72,066	70,701	64,844	30,547
1日平均(6館合計)		246	244	222	210

※ 平成29年度は9月末現在。

【今後の方針】

指定管理者制度の活用により、高齢者の生きがいつくりや健康増進、教養を高めるための事業の充実による利用の促進に努め、効率的な運営を行います。

(2) 高齢者クラブ

【現状】

60歳以上の希望者が高齢者クラブを組織し、スポーツ、ボランティア活動、研修・文化活動などを通して、仲間との親睦や地域社会との交流を図るとともに、社会福祉活動、環境美化などを行っています。各クラブ単位での活動のほか、高齢者クラブ連合会でも活動しており、これらの活動に対し、補助金を交付し支援しています。

(表 4-161) 高齢者クラブの状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
単位クラブ数 (人)	66	68	68	65
会員数 (人)	3,968	4,052	4,010	3,836
加入率 (%)	8.6	8.6	8.4	8.0
60歳以上人口 (人)	46,304	46,972	47,543	48,039

※ 加入率は 60 歳以上人口比率。

【今後の方針】

高齢者クラブの活動に対し、継続して支援します。

(3) 高齢者ふれあいサロン

【現状】

高齢者の閉じこもり予防、生きがいの場の提供等を目的に、高齢者と地域住民が気軽に集い、高齢者相互及び多世代間の交流を深める活動を行うまたは行おうとする団体に対し、開設に要する経費や新規に取り組む事業に要する経費、その他活動経費に補助金を交付し支援しています。実施主体は市社会福祉協議会です。

(表 4-162) 平成 29 年 9 月末現在の高齢者サロンの状況

区 分	勝田第一中学校区域	勝田第二中学校区域	勝田第三中学校区域	佐野中学校区域
高齢者サロン数	3	2	2	7
区 分	大島中学校区域	田彦中学区域	那珂湊中学校区域	平磯・阿字ヶ浦 中学校区域
高齢者サロン数	7	0	6	2

(表 4-163)

補助金交付状況

区 分		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
交付団体数	立上げ補助（新規開設）	3	3	1
	強化補助（新たな取組）	2	0	2
	活動補助	29	29	28

※ 平成 29 年度は 9 月末現在。

【今後の方針】

高齢者と地域住民が気軽に集い、高齢者同士や多世代間の交流を深める活動などを行うまたは行おうとする団体に対し、サロンの設立・運営について支援するとともに、活動の担い手となる人材を発掘・育成するための講座を開催するなど、支援を充実します。

(4) ハーモニーセンター

【現状】

市毛ハーモニーセンターは、県営もみじが丘アパートの住民及びその近隣住民に交流や活動の場を提供し、高齢者の生きがいをづくりを目的に各種講座を開催しています。

(表 4-164)

実施状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
講座実施回数（回）	90	88	90	38
受講者数（人）	1,307	1,334	1,376	705

※ 平成 29 年度は 9 月末現在。

【今後の方針】

今後も、指定管理者制度の活用により、高齢者のニーズを踏まえた事業実施による利用の促進に努め、効率的な運営を行います。

(5) ワイワイふれあい館

【現状】

地域住民の健康づくりや生きがいづくり、高齢者や児童等との世代間のふれあい交流活動を提供する場として地域住民が運営するワイワイふれあい館を支援しています。

(表 4-165)

実施状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用人数 (人)	8,869	8,673	8,280	3,443

※ 平成 29 年度は 9 月末現在。

【今後の方針】

高齢者が健康で生きがいをもって生活を送ることができるよう、地域における生きがいづくりや社会参加を促進するため、継続して支援します。

2 敬老事業

(1) 敬老会

【現状】

多年にわたり社会に貢献してきた75歳以上の高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、高齢者福祉の増進を図るため、敬老会を開催している自治会等に、敬老会費用の一部を助成しています。

(表 4-166)

実施状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
対象人数 (人)	16,549	17,405	18,334	19,165
金 額 (千円)	44,582	46,968	49,474	51,745

【今後の方針】

自治会等の敬老会主催団体に対して、継続して支援します。

(2) 敬老祝金

【現状】

77歳に1万円、88歳に2万円、100歳に5万円の敬老祝金を支給しています。

(表 4-167)

実施状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
対象人数 (人)	77 歳	1,631	1,472	1,512	1,834
	88 歳	539	573	581	579
	100 歳	33	28	38	31
	合計	2,203	2,073	2,131	2,444
金額 (千円)	28,740	27,580	28,640	31,470	

【今後の方針】

引き続き、支給します。

3 社会参加の促進

(1) 高齢者の就労支援

【現状】

高齢者の就労支援については、「生きがいのための就労」という視点に立って公益社団法人ひたちなか市シルバー人材センター（以下「市シルバー人材センター」という。）に対して運営費等の一部を補助し活動を支援しています。

シルバー人材センターは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づいて設置されている団体で、定年退職者等の高齢者に臨時的かつ短期的またはその他の軽易な就業を提供するとともに、ボランティア活動を始めとする様々な社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上及び活性化に貢献することを目的としています。

〔市シルバー人材センター〕

市シルバー人材センターでは、一般家庭の剪定や除草作業、襖・障子張り、民間企業や公共団体等の施設管理などを受託しているほか、墓地清掃管理や刃物研ぎ、小学生に学習の楽しさを教えるおさらい教室、きもの着付け訪問サービスなどの多様な事業を実施しています。平成24年10月から表町商店街に「ふれあいショップ」を開設し、会員が作った野菜や手芸品などを展示販売してきましたが、平成29年11月からは場所を田彦地区の「いきがいプラザ」に移して同様の活動を行っています。さらに、阿字ヶ浦海岸の清掃等のボランティア活動も毎年実施するなど、市民サービスの向上と社会貢献を目的とした事業を実施しています。

また、高齢社会に対応するため、ひとり暮らし高齢者や高齢世帯を対象に、食事作りや清掃、外出時の援助や話し相手、除草やゴミ出し等を行う「お助け隊」や市からの委託を受け、要支援1・2の方または介護予防・生活支援サービス事業対象者に清掃や買い物代行を行う「家事援助訪問型サービス事業」を実施しています。

今後は、団塊の世代を中心とした会員の確保や会員と役職員が一丸となって就業機会の拡大に努め、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、高齢者の雇用・就業対策を推進する中核として役割を果たしていきます。

(表 4-168)

実施状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
会員数 (人)	1,111	1,133	1,098	1,041
就業件数 (件)	5,075	5,392	5,646	3,131
契約金額 (千円)	490,334	490,466	436,855	206,259
就業実人員 (人)	906	859	804	675
就業率 (%)	81.5	75.8	73.2	64.8

※ 平成 29 年度は 9 月末現在。

【今後の方針】

引き続き、市シルバー人材センターの支援に努めます。

(2) 高齢者のボランティア活動支援

【現状】

市内には多くのボランティア団体が独自の活動を行っているほか、地域ごとにある自治会や子供会、高齢者クラブなどが地域福祉活動に取り組んでいます。

市社会福祉協議会では総合福祉センター内にボランティア活動センターを設置し、ボランティア養成講座やボランティア通信の発行など、ボランティア活動が活発に行われるよう支援しています。

【今後の方針】

介護予防・日常生活支援総合事業の実施に当たっては、ボランティア活動との連携を図るなど、地域の方の協力が必要となっていきます。このため、60歳代、70歳代をはじめとした要支援・要介護状態に至っていない高齢者が、地域で支援を必要とする高齢者の支える側となるなど、身近な場所で社会参加できる機会を増やしていけるように、ボランティア団体等の活動情報や、人材育成講座の情報など、活動するために必要な情報提供等に努めます。

(3) いばらきシニアカード交付事業（いばらき高齢者優待制度）

【現状】

いばらき高齢者優待制度は、高齢者の積極的な外出を促し、自身の健康増進やひきこもり防止につなげるとともに、地域、企業及び行政が一体となって高齢者を支えあう社会の実現を目的として、茨城県が平成26年12月から始めたものです。

65歳以上の方が協賛店舗等において高齢者優待カード（「いばらきシニアカード」）を提示することにより、各協賛店舗等が任意に設定した特典を受けることができる制度であり、「いばらきシニアカード」は、市高齢福祉課や那珂湊支所等で配布しています。

【今後の方針】

引き続き、いばらき高齢者優待制度の周知を行い、できるだけ多くの方に「いばらきシニアカード」を配付できるように努めます。



カードの利用は、65歳以上のご本人様のみ可能です

ふりがな 氏名	市町村名		
生年月日(明・大・昭)	年 月 日	血液型	型士
住 所			
緊急連絡先 電話	(様方)		
かかりつけ医	電話		
管轄	地域包括支援センター 電話		